

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人なごや福祉施設協会)
 事業所名 (特別養護老人ホームなごやかハウス名楽)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

適用を受けた補助率		3 / 4 ・ 1 / 2	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助		マッスルスーツ Every ソフトフィット	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和2年12月11日	4台	令和2年12月11日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排せつ介助時(オムツ交換時) ・寝浴における着脱介助時 ・シーツ交換時 ・夜勤帯における排泄介助時 ・夜勤帯における体位変換介助時 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腰への負担が少ないことが実感できる。 ・特に夜勤帯で使用することで、夜勤終了後の疲労度に違いを実感できる。 ・体位変換など、身体を傾ける動作での負担が軽減された。 ・適切に装着すると、身体と一体になり活用度が増加する。 <p>職員アンケートの結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腰痛の有無について半年ごとに職員アンケートを実施している。明確に「腰痛を感じなくなった」とまでの傾向はみられないが、腰痛を訴える職員の割合は増えてはいない。 			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

※これより下は、補助率「3 / 4」の適用を受けた場合のみ記入すること

① 従前の介護職員等の人員体制	② 導入計画策定時における介護ロボット等の導
-----------------	------------------------

別紙4

介護ロボット導入効果報告書（その1）

法人名 (社会福祉法人なごや福祉施設協会)
 事業所名 (特別養護老人ホームなごやかハウス名西)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助		マッスルスーツEveryソフトフィット	
導入時期	導入台（セット）数	搬入日	リースの契約期間
令和2年12月14日	2台	令和2年12月14日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排泄介助時（おむつ交換時） ・夜勤帯における排泄介助時 ・移乗介助時 			
<p>【介護ロボットの導入効果】 （介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腰部、背筋への負担が軽減されていることが実感できる。 ・夜勤帯のおむつ交換時や体位変換時に着用すると身体的負担軽減を実感する。 ・腰痛者が使用することで腰への負担を軽減することができる。 ・重い、汗をかきやすい等のデメリットもあるが、腰部、背筋の負担はかなり軽減される。 ・体重のあるご利用者、布団対応のご利用者の移乗介助の際に腰部への負担軽減が実感できる。 ・小柄な女性介護職員が比較的大柄なご利用者の移乗を介助しようとするときなどに負担軽減効果がより実感される。 ・マッスルスーツを装着して介助を行っている職員から腰痛やぎっくり腰の症例は出ていない。 ・マッスルスーツを使用している介護職員からは腰痛が軽減された、腰が楽になったとの声が多く上がっている。 <p>【導入効果まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜勤帯での排泄介助や体位変換等「中腰」で行うケアは腰部への負担が大きく、腰痛へと繋がるリスクが大きいのがロボットの導入により職員の腰部に係る負担を軽減して腰痛の予防を図ることができている。 ・移乗介助などマンツーマンで行う必要がある場合に予期しない動きをされるご利用者も多い為、ロボットの導入により確実に対応できるようにして介護事故の防止を図ることができている。 ・職員にとって心身の負担の少ない働きやすい職場環境の実現を図ることができている。 			

(注)

- ・介護ロボットごとに作成すること。

介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 (山田指定居宅介護支援有限会社)
 介護事業所名 (山田指定訪問介護事業所)
 介護保険事業所番号 (2370400471)
 サービス種別 (指定訪問介護)

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	移乗介護
	②介護ロボットの製品名	マッスルスーツEvery

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和2年11月1日	1台

(1)介護ロボットの使用状況

- ・使用予定の、ご利用者様に対しても事前に機器の導入に至る説明及び、職員の主に腰等の身体の負担軽減に用いる事へのご理解を頂いたうえで、ご利用者様宅へ置かせて頂く事にもご承諾を頂いた。
- ・日中及び夜間帯を通して使用している。
- ・ご利用者様に直接介助に入る、主に女性職員が使用している。
- ・ベッドから車椅子への移乗、車椅子からトイレへの移乗、腰や膝への負担がかかる「中腰」での作業時に使用をしている。

(2)介護ロボットの導入効果

- ・担当の女性職員より体格が大きく、下半身に力が入りにくい方への移乗介助で、抱える動作の際にロボットが腰を補助してくれるため、腰部及び膝に係る負担が軽減されて現場での効率化にも繋がっていると担当職員から声もあがっている。
- ・ご利用者様からも安心してお願いできるとの声を頂いた。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛燦会)
 事業所名 (長寿の里・十四山)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗サポートロボット		Hug L1-01 (S)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和3年2月1日	2	令和3年2月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の体型に合わせて、既に導入済の Hug T1 と使い分けているため、幅広い利用者に活用できている。 ・軽量・小型化されており、様々な介護場面で使用でき、特にトイレ排泄（自然排泄）の継続に使用している。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽量・小型化されており、小回りが利いて使用しやすく、ロボットを保管場所より移動させる時間の短縮にも繋がっている。（継続効果） ・介護職員の腰への負担軽減に繋がっている。（継続効果） ・ロボットを導入したことで、統一したケアを提供する事が出来るようになった。（継続効果） ・ロボットを活用するにあたり、幅広い利用者に使用できるように職員間での検討機会が増え、介護力向上に繋がっている。 			

(注)

別添1（介護ロボット用）

介護ロボット導入効果報告書（その1）

法人名（トヨタ自動車健康保険組合）

事業所名（トヨタ自動車健康保険組合老人保健施設ジョイステイ）

サービス種別（介護老人保健施設）

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗サポートロボット		FUJI 移乗サポートロボット Hug T1-02	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和2年12月18日	2台	令和2年12月18日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入所、通所利用者に使用。 ・移乗全介助レベル、昼夜オムツ内排泄（尿意・便意曖昧）の利用者に使用中。 →Hugを使用し、日中のみトイレでの排泄へ移行。 尿意もあり、トイレへの意思表示ができるようになった。 パット内に尿失禁が減り、紙パンツから布パンツへ変更。 ・尿意、便意はあるが、立位保持困難であり移乗全介助レベル →Hugを使用しトイレへ。 トイレにて排尿あり。 本人・職員の負担軽減に繋がった。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅復帰をする利用者家族に介護ロボットを勧め、自宅でも介護ロボットをレンタルし使用している。家族の負担軽減に繋がった。 →本人様も自宅でトイレにいける様になり喜んでいる。 ・介護ロボットを使用することで、昼夜おむつ対応だった方が、トイレでの排泄が可能となり、利用者の基本的欲求を満たす事が出来た。 ・利用者からも「Hugを使ってトイレに行きたい」と意欲的な発言が聞かれる様になった。 ・職員の介助時の負担軽減・腰痛予防が出来る様になった。 			

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人福寿園)
 事業所名 (特別養護老人ホーム武豊福寿園)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助		離床アシストロボット リシヨーネ Plus	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和3年 3月31日	1	令和3年 3月31日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】 対象の利用者1名に常時使用 ・ベッドとして臥床時に使用。 ・1日3回の食事時に居室から食堂への移乗介助時に車イスとして使用。身体が大きく、リフトにて職員2名で車イスへの移乗を行っていた。大腿骨の骨折後は、足の負担を考え、リフトを使用することが難しくなった。ベッドから車イスの移乗がリシヨーネを使用することで職員1名で行うことができるようになった。 ・ベッドから離れて活動する時(入浴、面会、レクリエーション等)に車イスとして使用。1人の職員で移乗が可能になった。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】 ○利用者 ・体大きい利用者の為、車イスへの移乗が職員2人必要だった。職員から「重い、重い」と言われることなく、離床や移動ができるようになった。 ・移乗が簡単になり、面会や余暇活動への参加がスムーズになり、QOLの向上につながった。 ・介護抵抗が少なくなった。 ○職員 ・2人介助での移乗には力が必要であり、1人での移乗が可能になり身体的負担が軽減した。 ・1人介助により介護時間が削減し、他の利用者への関わる時間が取れるようになった。 ・最新の福祉機器を活用することにより、持ち上げない介護の重要性を再認識し、利用者にも職員にも安全で優しい介護の実践ができるようになった。</p>			

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (株式会社ライフスタイル・テン)

事業所名 (ヘルパーステーションあんのん)

サービス種別 (訪問介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
Hug - t1 - 02		移乗介護	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和3年3月3日	1台	令和3年2月5日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ある程度意識もしっかりされていて、手で器具をつかむことが出来る方が使用に適している、女性スタッフ2名で移乗が、人によって1名で対応できる機会がある。 ・使用できる人は限定的ではあるが、可能な方にはルーチンで使用が出来る。 ・実際、利用者様に使用した際に、手でつかむ力が弱い為、使用が怖いと言われることが多いので使用できない利用者様が多いのが現状。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性だけでなく、男性職員にも積極的に使用して頂き、職員の腰痛予防に活用していきたい。 ・現状利用できる利用者は限定的で導入効果として得られる結果はまではでていない。 			

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (ブラザー健康保険組合)

事業所名 (老人保健施設瑞穂)

サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助		マッスルスーツ Every	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和3年1月12日	8	令和3年1月12日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】			
<p>・使用状況</p> <p>①各フロアに配置し、主にシーツ交換作業時に使用</p> <p>②その後介護サポート職員にも導入し、オムツの入った段ボールの移動等、力のいる仕事の時に使用している。</p>			
【介護ロボットの導入効果】			
<p>・中腰姿勢を保持する時にサポート力を感じる。</p> <p>・高齢のサポート職員で、特に重い荷物を上げ下げする作業においては、重量感の軽減につながっている。</p>			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 仁至会)
 事業所名 (介護老人保健施設ルミナス大府)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
初老ロボット		Hug T1 (T1-02)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和3年2月15日	1	令和3年2月15日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>排泄介助、車椅子とベイト移乗を中心に使用しています。 使用開始してから1年以上経過しており、女性スタッフ、パートスタッフも 操作に慣れていきます。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>起立保持が不安定な利用者でもしっかりした姿勢で座らせることが 可能なので、利用者本人から安心という声がかかる。 着座時姿勢傾斜があっても修正が容易である。 利用者の股部等、皮膚状態の観察・処置がしやすい。</p>			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人すいと福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホームふぁみりい憩苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助		パワーアシストスーツ「マッスルスーツ Every」 株式会社イノフィス	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和3年2月1日	1台	令和3年1月20日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>・腰痛が強い介護職員に対して、ベッドから車椅子への移乗等の介助時に使用している。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>・移乗介助だけではなく、備品の棚からの上げ下ろしにも効果的に使用でき腰痛予防に繋がっている。</p> <p>・利用者からも安心できるとの声があった。</p> <p>・腰痛を訴える職員が少なくなった。</p>			

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 (社会福祉法人薫徳会)
 介護事業所名 (デイサービスセンターエイジトピア諸輪)
 介護保険事業所番号 (2375001019)
 サービス種別 (地域密着型通所介護)

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	移乗介護
	②介護ロボットの製品名	イノフィスマッスルスーツEVERY

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和2年12月22日	2台

(1) 介護ロボットの使用状況
<p>デイサービス利用者の下記介助の際に使用中。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入浴介助 (1日13~18人) ・トイレでの排泄介助 (1日30回程度) ・休養ベッド利用者の移乗 (1日3回程度)
(2) 介護ロボットの導入効果
<ul style="list-style-type: none"> ・介護職員の身体的負担軽減効果 介護ロボット導入後、新たに腰痛等を訴えた職員はなし。 装着した職員にヒアリングしたところ全員が負担軽減したと回答。 ・介護時間の短縮 装着した職員にヒアリングしたところ中腰で介助することの多い入浴時に解除中断することがなくなったと回答。 ・移乗による事故の低減 介護ロボット使用時の事故発生はゼロ。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 華陽会)
 事業所名 (サービスネットワーク南陽)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

適用を受けた補助率	3 / 4 ・ 1 / 2		
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
移乗介助機器 (非設置型)	離床アシストベッド リショーンネ PLUS		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和2年12月1日	2	令和3年3月17日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>① 体格がよく体重の重い要介護5の入所者を対象にしている。 ベッドから車いすの移乗介助において職員二人で抱え上げを行っていたが、抱え上げの際の負荷によって内出血や表皮剥離が発生していた方。</p> <p>② 全身の関節拘縮がある要介護5の入所者を対象にしている。 ベッドから車いすの移乗介助において職員二人でバスタオルを使用していたが、抱え上げの際の負荷によって内出血や表皮剥離が発生していた方。</p> <p>③ 使用者を選定する場合は、理学療法士が心身機能を評価し、使用を判断するサポートを行っている。多職種で定期的にモニタリングを行い、使用の中止、変更、拡大を行っている。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)</p> <p>導入後移乗介助を起因とする内出血や皮膚剥離は発生しておらず、利用者の安全、安心と職員の精神的、身体的な負担の軽減につながっている。また、これまでふたりで行っていた介助がひとりで出来るようになり、作業効率が上がっている。これまで臥床時間が長かった利用者の生活スケジュールを見直し、共有スペースで他者と過ごすこと機会を増やすことができ、QOLの向上につながっている。また、職員の移乗に伴う腰痛発生リスクが軽減されている。</p>			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 華陽会)

事業所名 (サービスネットワーク南陽)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

適用を受けた補助率	3 / 4 ・ 1 / 2		
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
移乗サポートロボット	H u g T 1 - 0 2		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和2年12月1日	2	令和2年12月24日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いすからトイレへの移乗の際、職員ふたりで介助しひとりが抱え上げ、もうひとりがズボンの上げ下ろしの介助をおこなっていたが、抱え上げの際の負荷によって内出血や表皮剥離が発生していた方。抱え上げの際に筋緊張が見られる方。 ・使用者を選定する場合は、理学療法士が心身機能を評価し、使用を判断するサポートを行っている。多職種で定期的にモニタリングを行い、使用の中止、変更、拡大を行っている。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入後移乗介助を起因とする内出血や皮膚剥離は発生しておらず、利用者の安全、安心と職員の精神的、身体的な負担の軽減につながっている。また、これまでふたりで行っていた介助がひとりでできるようになり、作業効率が上がっている。トイレで排せつできる機能維持につながっており、QOLの向上にもつながっている。 ・トイレ誘導後の臀部の処置が、楽にできるようになっている。 			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

※これより下は、補助率「3 / 4」の適用を受けた場合のみ記入すること

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 華陽会)
 事業所名 (華の郷南陽)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

適用を受けた補助率	3 / 4 ・ 1 / 2		
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
移乗介助機器 (非設置型)	離床アシストベッド リショナー PLUS		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和2年12月1日	2	令和3年3月17日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】 ① 体格がよく体重の重い要介護5の入所者を対象にしている。 ベッドから車いすの移乗介助において職員二人で抱え上げを行っていたが、抱え上げの際の負荷によって内出血や表皮剥離が発生していた方。 ② 全身の関節拘縮がある要介護5の入所者を対象にしている。 ベッドから車いすの移乗介助において職員二人でバスタオルを使用していたが、抱え上げの際の負荷によって内出血や表皮剥離が発生していた方。			
【介護ロボットの導入効果】 (介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等) 導入後移乗介助を起因とする内出血や皮膚剥離は発生しておらず、利用者の安全、安心と職員の精神的、身体的な負担の軽減につながっている。また、これまでふたりで行っていた介助がひとりで行えるようになり、作業効率が上がっている。これまで臥床時間が長かった利用者の生活スケジュールを見直し、共有スペースで他者と過ごす機会を増やすことができ、QOLの向上につながっている。また、職員の移乗に伴う腰痛発生リスクが軽減されている。			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

※これより下は、補助率「3/4」の適用を受けた場合のみ記入すること

① 従前の介護職員等の人員体制	② 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制
-----------------	--

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人 豊成会)
 事業所名 (老人保健施設ウェルビー)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗用サポートロボット		Hug T1-02	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和2年12月25日	1	令和2年12月25日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>居住フロアの談話室に設置し、日中のトイレ移乗、早朝・夜間などの車椅子⇄ベッド間の移乗において、立ち上がりが困難、立位保持が困難なご利用者に対して毎日使用している。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>抱きかかえでの立ち上がり、立位保持が必要なご利用者に対して Hug を使用することで密着しての介助が不要となった。</p> <p>介護ロボットを使用してではあるが、ご利用者から「人に頼らなくても立つことができる」と自信を持つなど自立支援促進に効果がある。</p> <p>介護技術は介護者の身長や技術によりどうしても差ができてしまうが、ロボットを使用することで誰でも同じ水準での介護を実践できている。</p> <p>身体を密着、接触を減らすことで新型コロナウイルスなどの感染症対策にも効果が挙げられている。</p> <p>なによりスタッフの腰痛負担の軽減に非常に効果がある。このロボットだけではより重度の利用者や場面での利用ができないなどこのロボット1台だけでカバーできることではないが今後も積極的にスタッフの腰痛対策として移乗用リフトなどを導入するなどノーリフティングケアの実践に向けて取り組んでいきたい。</p> <p>2021年度より「腰痛対策委員会」をスタッフが自発的に立ち上げ、腰痛の原因となる作業や動作について勉強会、研修を実施し始めた。設備選定の基準に「スタッフの負担感」も評価することで業務を楽に行う視点を大事にすることができている。</p>			

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (株式会社クロックワイズ)
 事業所名 (デイサービスいっぽ宝神)
 サービス種別 (地域密着型通所介護)

適用を受けた補助率	3/4 ・ 1/2		
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
移乗介護	イノフィスマッスルスーツEveryタイトフィット SMサイズMS08SMT00000A		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和2年12月10日	1	令和2年12月10日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>○介護ロボットを使用する対象者：要介護3～5の利用者 ここでいう要介護3～5の利用者とは、ベッド等と車いすの間で移乗介助をする際に身体的・精神的負担が大きい利用者であって、介助に長い時間が必要となる利用者や介助職員2～3名が必要となる利用者のことをいう。</p> <p>○介護ロボットを使用する移乗介助：車いすと自動車間の移乗介助 車いすとベッド間の移乗介助</p> <p>○利用者数： 令和2年12月から令和3年4月 2名 令和3年5月から令和4年4月 9名</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>○職員の腰部への負担が軽減された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事業所においてマッスルスーツを使用して介護業務をした職員全員が、マッスルスーツの導入によって腰部への負担がやや軽減した、又は軽減したとの感想を述べている。 ・使い方などを工夫改善して、利用頻度が上がった。 ・これをきっかけにして、利用者様・従業員双方にとって、安全・安心、かつ、負担を軽減できるように、さらなるロボットの活用などを検討していくように、事業所全体で意識づけができた。 ・マッスルスーツを導入した後、介護業務が原因の腰部の怪我は発生していない。 <p>○利用者・ご家族よりマッスルスーツを使用した移乗について、過度な負担が生じているなどの訴えやつぶやきは無い。</p> <p>○介助職員数は1人介助にて対応している。状況によっては安全面を考え2人介助での対応をしている。</p>			

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 愛生館)
 事業所名 (特別養護老人ホームひまわり・安城)
 サービス種別 (社会福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介護		FUJI 移乗サポートロボット Hug T1-02	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和2年 12月25日	1台	令和2年 12月25日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>①トイレ介助 ②入浴時、車椅子とシャワーチェアの移乗</p> <p>上記2つの使用用途として活用している。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>① トイレに行きたいと希望される入居者の思いに寄り添うことができ、自尊心を傷つけることなく、ケアを行うことができる。 ② 1人での介助が可能となるため、入居者のタイミングに合わせたケアを行うことができる。 ③ 人をかかえるという行為が減るため、従業員の身体的介護負担が減った。</p>			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (株式会社 Eternal Flame)

事業所名 (ヘルパーステーションアリス
エルダーホームアリス新宿)

サービス種別 (訪問介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗サポートロボット		Hug L1-01 (S)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和3年1月6日	1	令和3年1月6日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

職員より体格の大きい利用者様のベッドから車いすへの移乗、またトイレ介助にあたり、使用。

【介護ロボットの導入効果】

コンパクトかつ準備操作がシンプルであり、簡単な操作で介助できるため、利用者様の希望のタイミングに合わせて使用することができる。

利用者様からは移乗が楽になったと喜ばれている。さらに、介護者に直接身体を支えられることや、介護者の身体的負担が大きい移乗業務を依頼する精神的負担が軽減できると好評である。

職員からは腰痛発症の不安を軽減できているので、身体的精神的に負担が減っていると聞いている。

施設全体の業務としても、(移乗介助以外の)別業務に充てる労力が増えるため、ケアの充実にもつながっている。また、移乗業務が見直されたことにより、事故リスクも低くなったと思われる。

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知育児院)
 事業所名 (特別養護老人ホーム南山の郷)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

適用を受けた補助率		3 / 4 ・ 1 / 2	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介護		移乗サポートロボット ハグ	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和3年3月5日	1台	令和3年3月5日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ・二人介助が必要なご利用者のトイレ誘導場面、車椅子、ベッド間の移乗に使用。

【介護ロボットの導入効果】

(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)

- ・介助される側のご利用者の負担軽減と、介助する職員の負担軽減および腰痛予防になっている。
また、お互いの負担が軽減され姿勢も安定することで安全な介助ができる。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人御幸会)
 事業所名 (デイサービスセンターローズ)
 サービス種別 (通所介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助		マッスルスーツ EVERY	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和2年12月15日	2台	令和2年12月14日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ・導入時、職員に対し説明会及び体験会を実施。主に使用するのは介護職員であるが、看護師、リハビリ職員、ケアマネも参加した。
- ・職員が気軽に使用できる場所に置き、入浴時やベッドから車いすへの移乗等の介助時に使用している。
- ・新人職員が入職した際には使用方法の説明、使用することのメリットなどを伝達する説明会を実施し、使用するよう指導している。また、日中の業務の中でも先輩職員が装着方法などを確認するようにしている。

【介護ロボットの導入効果】

- ・導入前より腰痛を訴える職員が多く、腰部への負担軽減に効果があるマッスルスーツを導入した。以前よりも腰部への負担を訴える職員は減ってきている。
- ・腰部への負担が軽減したことにより、入浴介助や移乗介助などの作業効率が向上した。
- ・リハビリの時間などでも使用するようになった。起立訓練や立位保持訓練などを行う際に腰部にストレスを感じず、比較的楽な力で支えることが出来るようになった。その効果もあり、利用者様からも「以前よりも安心できる」といった発言も聞かれるようになった。

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人御幸会)

事業所名 (野村胃腸科)

サービス種別 (通所リハビリテーション)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助		マッスルスーツ EVERY	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和2年12月15日	2台	令和2年12月14日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入時、職員に対し説明会及び体験会を実施。主に使用するのは介護職員であるが、看護師、リハビリ職員、ケアマネも参加した。 ・職員が気軽に使用できる場所に置き、入浴時やベッドから車いすへの移乗等の介助時に使用している。 ・新人職員が入職した際には使用方法の説明、使用することのメリットなどを伝達する説明会を実施し、使用するよう指導している。また、日中の業務の中でも先輩職員が装着方法などを確認するようにしている。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入前より腰痛を訴える職員が多く、腰部への負担軽減に効果があるマッスルスーツを導入した。以前よりも腰部への負担を訴える職員は減ってきている。 ・腰部への負担が軽減したことにより、入浴介助や移乗介助などの作業効率が向上した。 ・リハビリの時間などでも使用するようになった。起立訓練や立位保持訓練などを行う際に腰部にストレスを感じず、比較的楽な力で支えることが出来るようになった。その効果もあり、利用者様からも「以前よりも安心できる」といった発言も聞かれるようになった。 			

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (ハートピース株式会社)

事業所名 (ハートピースケア)

サービス種別 (訪問介護)

適用を受けた補助率		3 / 4 ・ 1 / 2	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗サポートロボット		移乗サポートロボット Hug T1-02	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和3年3月9日	1 台	令和3年1月20日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>(介護ロボットの使用状況)</p> <p>○既存の職員については導入時からの研修により、使用方法を習得した。</p> <p>○主に下肢が不自由な利用者様や大柄な男性利用者様に対し、ベッド⇄車いすへの移乗や排せつ介助に使用。</p>			
<p>(介護ロボットの導入効果)</p> <p>(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)</p> <p>○職員よりも大柄な利用者様の移乗介助について、安心・安全に行えるようになり、利用者様・介護職員ともに身体的・精神的な負担が軽減された。</p> <p>○移乗介助負担の軽減により、車いすへの移乗介助も職員1名でも容易になり、利用者様の離床回数の増加に繋がっている。</p> <p>○近隣病院からの退院患者様の受入れや新規職員採用の際に移乗支援ロボットを導入したことによる効果がPRでき、これらによる取り組みを評価頂いている。</p>			

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。